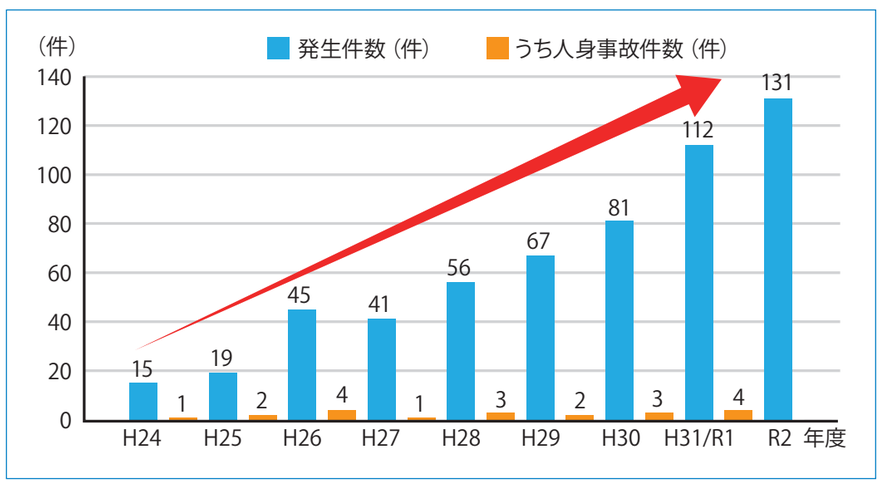
大型自動車（事業用・自家用）に乗られる皆さんへ

重大事故を防ぐため、適切な点検整備の実施を!

大型自動車は、事故が起こると重大な被害につながりかねません。
日頃の点検整備を徹底し、安全な車社会の形成に、ご協力をお願いいたします。

大型自動車の車輪脱落事故

事故件数は、近年増加



歩行者にぶつかれば大事故になりかねません

車輪脱落事故啓発動画より（R2. 国交省作成）

車輪脱落のことが詳しくわかります

動画 URL

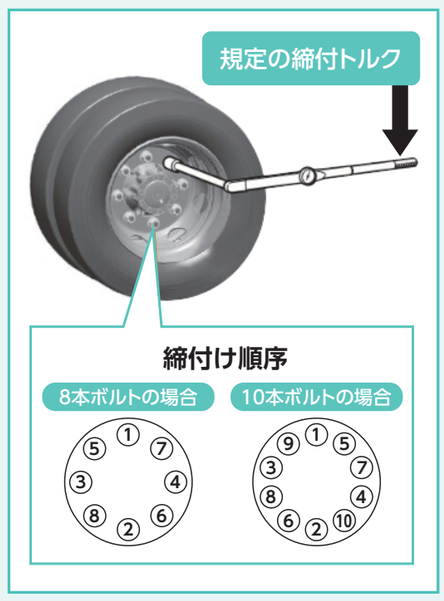
以下に特にご留意を!

※ISO規格の例のみ示しています

日常点検時

●増し締め

きちんと締め付けを行っても、走行すると
必ず緩みが発生します
（初期なじみといいます）。
50 ～ 100キロほど走行したら、規定トルクで増し締めを。

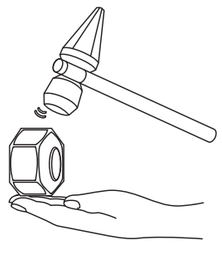


●ゆるみの確認

いずれかの方法で、緩みがないか日常的に確認しましょう。

打音点検

○点検ハンマ

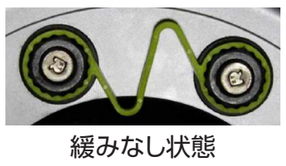


ナットが締める方向に叩く

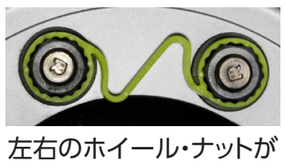
目視点検

○マーキング

○ホイールナットマーカー



緩みなし状態

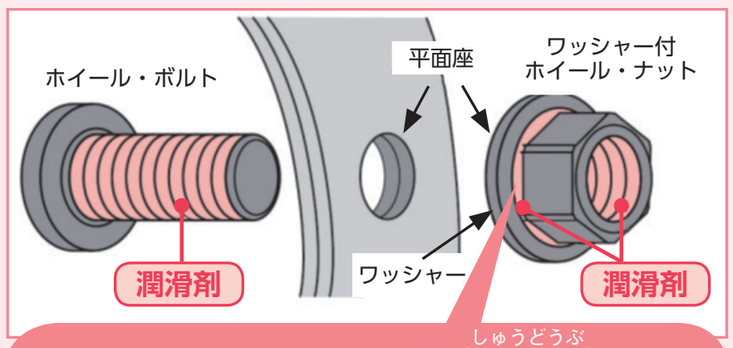


左右のホイール・ナットが緩んだ状態

車輪脱着時

●清掃・潤滑剤の塗布

十分な締め付け力を得るため、各部を清掃後、赤色の箇所に潤滑剤（エンジンオイル等）を薄くぬってください。



ナットとワッシャーの間（摺動部（しゅうどうぶ））に、潤滑剤を忘れず塗ってください!

清掃し、潤滑剤を塗布してもスムーズに回転しない場合は、ナットを交換してください。

劣化がひどいものは交換を!